

日本商工会議所青年部

令和2年度日本ネットワーク委員会415事業

日本YEG都道府県別415単会会長とのWEB懇談会

議事録

開催日	令和2年7月6日	時間	15:00 ~ 16:00
連合会名	東 地区	東北ブロック	山形県連
出席単会名	留萌・滝川・砂川・名寄・稚内		
出席者数	19名 +NW・広報オブザーバー		
コロナ禍における 貴単会の	酒田	4月総会中止。マスク寄付、献血への協力事業。雇用調整助成金の勉強会実施。YEGメンバー店舗を対象としたスタンプリー	
	長井	4月ATにて総会実施。7月末まではWEBにて活動。5月補助金勉強会。6月例会『家庭菜園をしよう!』(WEB事業)。7月例会は独自の事業を創出する会議を企画。直近でコロナ感染者が市内で出たため次年度会長を決める会議が出来ない。今後、コロナの影響を受けたメンバーを支援する会を作る。	
	天童	市と連携してテイクアウト情報を発信。5月クラウドファンディング「みらい飯」120万。イベント『平成なべ合戦』をオンラインで企画。天童温泉街全体を使ったイベントを企画。	
	鶴岡	9月までは事業中止。4/28給付金、助成金セミナーをFBでライブ配信。好評につき7/8に第2弾を実施。親会、青年部、ほか青年団体で『鶴岡元気プロジェクト』発足→コロナ対策・安心安全情報発信。のぼり、ステッカー、エチケット団扇の配布。	
	米良会長	モチベーション低下は全国でも問題になっている。今後はGOTOキャンペーンなどを活用しながら観光業を支えていなくてはならない。イベント開催に際しては来場者の後追いができる体制を構築。このような時だからこそ全国の単会とビジネスなどの連携をしやすい環境を整えていく。	
	米沢	市や会として毎年、行っているイベントは全て中止。過去10年行ってきたY-1グルメGPも中止。YEGとJCで『米沢びしゃもんプロジェクト』発足。300事業所が登録。15項目の感染対策の達成度によって三ツ星までで登録事業所を表彰。7月から理事会、内部向けの事業を開催予定。	
	新庄	5月までは総会、例会はWEBで開催。親会で飲食チケットを企画。その手伝い。今後は内部的な交流事業など少しずつ進めていく。	

現在の状況・取組み

山形	4月、総会は中止。それ以降の例会も中止。4/27～クラウドファンディング事業実施。520万。『日本一の芋煮』の代替案として花火を企画中。家族感謝祭→陶芸教室。12月に婚活イベントを準備中。会員拡大が課題。
米良会長	びしゃもんプロジェクト→コロナ対策の見える化は全国でもやっているようでやってない。今後はコロナ対策をしたうえでの交流は推進していくべき。先の見えない中、出向者の選定なども進んでいない。負担軽減する方法も日本として模索している。
長沢県連会長	Q. 全国の会長からの要望等はどんなものが多かったのか？ (米良会長) A1. 出向者の負担軽減について A2. 取り組み事例の共有について 情報共有や出向に対する方法等のインフラ整備を進めているとのこと。
渡部県連代表理事	この状況下、やれることは限られている。情報発信などを行うことでYEGを知ってもらい会員拡大に繋がれば。新しい会の在り方を模索すべき。
上嶋プロ代	7/11大曲にて役員会、委員会事業が対面にてスタート予定。刻一刻と状況が変わるが今だから出来ることをやっていく。ブロック大会のPRもできない状況だが対策、準備をしっかりと進めている状況。
まとめ	役割の話。経済活動を活発に行っていこう。地域の盛り上がり日本全体の盛り上がりにつながる。可能な限りの単会運営、経済活動を。単会・県連・ブロック・日本、それぞれの組織でできる役割を果たしていこう。 コロナとの共生。仲間内で感染者が出てくることもあるかもしれない。差別や偏見を持たず、YEGという繋がりを大切に活動を全うしていきましょう。